

第5回四国圏広域地方計画協議会 及び 四国地方の社会資本整備戦略会議 合同会議 議事要旨

1. 日時

平成28年2月17日（水）13：30～15：15

2. 場所

アルファあなぶきホール 多目的大会議室「玉藻」

3. 議事

- 1) 四国地方の社会資本整備戦略会議 規約（改正案）について
- 2) 新たな四国圏広域地方計画について
 - ・ 新たな四国圏広域地方計画計画原案について
 - ・ 同計画に係る市町村計画提案について
- 3) 四国ブロックにおける社会資本整備重点計画について
 - ・ 四国ブロックにおける社会資本整備重点計画（原案）について
- 4) 意見交換
- 5) その他

主な発言内容

1) 開会挨拶

千葉会長、西脇国土交通審議官よりあいさつ

2) 意見交換

議事1)、2)、3)について事務局から資料説明。その後、意見交換が行われた。
各構成員等から出た主な意見は以下のとおり。

<香川県>

- ・ 四国の各県、四経連から四国の新幹線に関する記述を要望していたところ、今回、記述が盛り込まれたことについては、感謝する。
- ・ 現在、四国だけが新幹線の空白地帯であり、他地域と比べて相対的に交通利便性が低下し、他地域との競争に大きく後れを取っている。四国圏に新幹線の整備は四国

と他地域、四国内の交流圏や交流人口の拡大により、地域経済の活性化や観光の振興を図るために欠かせないものであり、また、災害耐力の向上や在来線の維持確保等の観点からも不可欠である。

- ・こうしたことから、昨年来、「四国鉄道活性化促進期成会」による国土交通省への要望や、四国知事会議での提言、財務省、自民党本部への要望、さらには、自民党四国ブロック両院議員会のメンバーと共に国土交通大臣を訪問し、四国の新幹線を整備計画に盛り込んでいただくようお願いに参ったところである。
- ・こうした中で、今回、「四国の新幹線」の記述について、「鉄道の抜本的高速化が長期的な検討課題となっている」とあるが、「検討を進める」といった表現ではなく、「検討課題となっている」、しかも「長期的な」という表現がついているが、その考え方について確認したい。また、往々にして、長期的という表現は、実際には行われたいということの意味しかねないが、そのような趣旨ではないことを確認したい。

<徳島県>

- ・災害リスクの高い地域への重点整備、元気な高齢者の移住、(日本版CCRC)、政府関係機関の移転の促進など盛り込んでいただきありがたい。
- ・四国新幹線を課題として認識したことは意義がある。機運も醸成されている。検討課題にとどまらず、整備新幹線への格上げに努力してもらいたい。
- ・高速道路の整備でヒトモノの流れが活性化した。活力の道、命の道として、四国8の字ネットワークのミッシングリンクの解消を加速させていく必要がある。
- ・社会資本整備重点計画においては、事業化に向け取組が進んでいる海部道路や早期供用に向け整備が進む四国横断自動車道「阿南 IC～徳島東 IC 間」などについて、フォローアップの段階で最新状況をきめ細かく追記していってもらいたい。

<愛媛県>

- ・1点目は、地域の活力維持には交流人口の拡大が必要であり、新幹線は必要な社会基盤と考える。地元から必要だという声を上げていくので、国におかれましても整備計画格上げに向けて必要な調査を行っていただきたい。
- ・2点目は、昨年策定された愛媛県人口ビジョンでは、最低 25%の人口の上積みを図ることとしており、これを実現するため、地方総合戦略において、地域に働く場所をつくる・人を呼び込む、出会いの場をつくる・安心して子どもを生み育てる、元気な地域をつくる・いつまでも地域で暮らせるの3つの基本目標を掲げている。広域地方計画には、本県が推進する自転車新文化、産業力強化、観光振興など共通するものもあり、地方総合戦略と広域地方計画の連携による相乗的な効果を期待する。

<高知県>

- ・とりまとめにあたり本県の意見も多数反映していただき感謝申し上げます。
- ・プロジェクトを推進していくことは、本県の重要施策である地産外商、観光振興、移住促進、南海トラフ地震対策をはじめとした国土強靱化を進めることにもつながり、ソフト面はもとより、遅れているインフラの整備が特に重要と考える。中でも、四国8の字ネットワークの早期整備が重要と考える。新幹線についても特段の配慮をしていただくようお願いしたい。
- ・社会資本整備重点計画については、局地化する降雨への防災減災対策は重要な課題である。一昨年の台風による被害に対し国・県・市町村が連携して取り組んでおり、今後5年間、国の支援をいただきたい。
- ・高知新港は大型客船就航が可能となった。クルーズ寄港回数も増えており、外航客船による日帰りバスツアーなどでも道路のネットワーク整備が重要。外国人観光客をぜひともリピーターとして迎え入れ、四国圏、中国圏とも連携した周遊観光につなげたい。

<香川県市長会>

- ・四国の新幹線、広域地方計画の原案に盛り込んでいただきありがたい。
- ・新幹線は4県と岡山県の間的大幅な時間短縮が可能になり地域に大きな効果がある。
- ・全国に先駆けて人口減少、高齢化が進んでいる中、一日も早く調査研究の着手をお願いしたい。

<香川県町村会>

- ・平成の大合併により、多くの無駄が解消、効率的な行政運営が可能となったが、人心のとりまとめでは希薄となった。これからは物質的満足感から精神的満足感が重要である。
- ・定住人口の低下を抑えることが重要。近隣市町間でのパイの奪い合いでは限界があり、国による人口増加に向けた子育て環境の抜本的改善策、広域地方計画における魅力増進により都会への一極集中に一石を投じることを期待する。

<愛媛県市長会>

- ・新幹線について、広域地方計画原案 p9 の、四国では新幹線は整備されていないという記述は、道路に関する段落の後ろについており違和感がある。
- ・p32 に鉄道の高速化が長期的課題とあるのは、今後の取組としてはそぐわず、前段 p9 あたりに課題としてあげるべきで、鉄道で一つの段落としてまとめて記述すべきである。さらには p30 以降の今後の取組として、前向きな記載をお願いしたい。

<高知県市長会>

- ・プロジェクトで防災力向上プロジェクトをトップに持つことや、四国8の字ネットワークや津波対策としての三重防御などの取組を記載していただき感謝する。ぜひこの取組を今後とも推進していただきたい。
- ・人口減少問題では雇用の場の確保が重要。高知県出身の県外大学生のうち50%が帰りたいと思っているが、希望する仕事がないため、実際は10%強しか帰ってこない。観光活性化プロジェクトや産業競争力強化プロジェクトについて関係機関が連携して成果を上げていくことが重要と認識した。

<高知県町村会>

- ・インフラについての気配りをしている。
- ・社会資本整備はB/Cもあり、人口の集中したところに投資がいくのは致し方ないところがあるが、町村も地方創生で生き残りをかけて頑張っている。
- ・8の字ネットワークの整備が本県は遅れている。大月町、東洋町、三原村など遠隔地があり、道路整備に重点的なご配慮をいただきたい。
- ・p27 維持管理に多額の経費がかかっている。国には技術者の養成、財政的な支援も含めて配慮願いたい。

<四国商工会議所連合会>

- ・記述についてもう少し踏み込んでもらいたいところが2点ある。
- ・1点目は新幹線について、言葉としては2ヶ所表現されているが、民間の感覚としては、p9の新幹線の言葉の使われ方として、何を意味しているのかよくわからない。新幹線の必要性に対する認識の差があるのではないと思う。官民一体の積極的な要望の必要性を感じた。
- ・2点目は高速道路など基盤整備の促進である。鉄道・道路だけでなく、それ以外の社会資本整備も含めて地域の総合力の維持向上に不可欠。地域のニーズが最大限反映されたものであってほしい。

<四国地方測量部>

- ・社会資本整備重点計画についてコメントする。
- ・平時はハザード情報をいかに正しく市民に理解してもらうか、災害時は被害情報や復興・復興状況などを、我々のリソースを活用していかに迅速に共有するかが重要。
- ・当院としては、プロジェクト1-3の危機管理対策の強化に記載されている当院の施策も含め、今後とも災害リスクの低減に貢献していきたい。

<中国四国地方環境事務所>

- ・広域地方計画についてのみコメントさせていただく。
- ・大規模災害への備えの一環として、資料4p13に、災害廃棄物への備えに関する記述を追加していただいた。環境省としても、災害廃棄物処理のための広域連携強化を進めており、これにより、早期の災害復興に貢献できると考えている。
- ・計画のフォローアップの体制についてであるが、例えば今述べた災害対応など、個別のプロジェクトについて貢献できる場所もありご相談いただきたい。

<第六管区海上保安本部>

- ・これらの計画が今後実施される中で、港湾整備に伴う港内の海上交通の検討を要する場合、関係機関・団体と協議を行うことになる。
- ・この計画が5年10年後振り返って、多くの方に幸多き発展をすることを願っている。

<第五管区海上保安本部>

- ・海上保安庁については、南海トラフの項目の中で、体制の強化について記載されており、現体制においても、訓練や関係機関との連携により対応能力を強化していきたいと思っている。よろしくお願ひしたい。

<大阪管区气象台>

- ・气象台として、ソフト面の取り組みなど計画に反映されている。気象庁としては、防災気象情報の改善を進め、より分かりやすい気象情報の提供、緊急地震速報の技術的改善も計画している。関係機関と連携して取り組んでいきたい。

<大阪航空局>

- ・愛知県・富山県から西、沖縄までを所管している。
- ・3年ほど前から昨年9月までインバウンドを担当したが、広域観光周遊ルートの中だけに外国人が1週間もいることはない。外国人に首都圏や関西圏等の大都市圏から外に出てもらうためには、ゲートウェイ機能の強化が必要。
- ・アジアについてはダイレクト、欧米はダイレクトではないと書いてあるが、今後は東京や大阪に来た外国人を他の圏域に誘導するような、大都市圏の空港と連携するような施策を立てることが必要。当局は広い管区を持っているので広域連携についてアドバイスできる。
- ・全国を外国人が国内線や新幹線等に乗って動き回るようになることが理想であり、その方向で頑張る。

<四国経済産業局>

- ・ 四国が社会情勢では一番深刻で、人口減少、南海トラフ、経済が重要だと思う。
- ・ これらのフォローアップについて、何が課題で、どこがうまくいっていてどこがうまくいっていないか分析して進めていくのが大事である。自戒を込めて申し上げる。
- ・ このような会議、スーツを着た中年以上の男性が多く、そうじゃない人、スーツを着ていない人、若い女性、外国人をまきこんでやっていくことが大事なのかと思う。

<四国森林管理局>

- ・ 四国の森林率は 74%と全国でも有数であり、また、人工林率も高いだけでなく、利用可能な森林が多く、森林資源は充実している。この恵まれた森林資源をどう活用していくかが重要である。
- ・ 四国では大型製材工場、バイオマス発電、CLTの取組が進められており、森林資源を適切に管理しつつ、材の安定供給等により林業の成長産業化に貢献したい。
- ・ 四国の地質は地形が急峻で脆弱。治山事業を適切に進めたい。

<中国四国農政局>

- ・ 食料・農業・農村基本計画に基づき、体質強化を進めている。農政新時代、成長産業としての農林水産業を作り上げたい。
- ・ TPP政策関連大綱に基づき、一層の輸出拡大、6次産業化、攻めの農林水産業、国内外での消費拡大、食文化、観光プロモーション、稼ぐ力などについて引き続き取り組んでいきたい。
- ・ 広域観光周遊ルート上に位置している場合の農産物直売所等の整備、農家民宿支援の予算を確保している。情報提供していきたい。

<四国厚生支局>

- ・ 地域包括ケアシステムの構築について 2025 を目途に協力して取り組んでいく。
- ・ 各地域の好事例を情報収集、展開をしていきたい。ハードの面だけでなくソフトの面での取組、コミュニティでどう取り組んでいくか、できるだけ足を運んで聞かせていただき、東京などに届けていきたい。

<四国総合通信局>

- ・ 本日の資料は、総務省及び当局の知見をいれていただきありがとうございます。平成 27 年度末、四国における超高速ブロードバンドの利用可能エリアが、はじめて 100%になった。他の地域に遜色ない状況下、自治体関連の wifi 環境もアクセスポイント数が昨年から 4 倍と急増。さらに、四国の放送事業者は、各ブロックに先駆けて放送コンテンツの海外展開に取り組んでいる。防災についても、コミュニティ FM や防

災行政無線をしっかりと活用していただければと思う。

- ・ 以上のように、四国ではICTのスキルが整ってきており、全国より一歩前に出ているものもある現状。

<四国管区警察局>

- ・ 南海トラフ地震への備えが重要と認識している。昨年は県、自衛隊、DMATなど関係団体と、2日間にわたり訓練を実施し連携を図った。
- ・ 関係省庁と四国の現地災害対策本部訓練にも参加した。災害諸対策、訓練に取り組んでいきたい。
- ・ 安全安心の生活環境づくりに関しても交通事故抑止対策、犯罪のない地域づくりに取り組んでいく。

<事務局>

- ・ 前回協議会までは新幹線に関する追加記述が一切認められていない状況であったが、地元のご要望の高まり、基礎調査が実施されていることなどを踏まえ、新幹線が検討課題であるという基本認識を計画の中に記述することとなった。
- ・ 今回の記述内容は、広域地方計画の趣旨及び関係機関との調整の結果であることを理解いただきたい。
- ・ 長期的な検討課題の意味については、国等においては5年を超える計画等は長期と位置づけており、広域地方計画は概ね10年間の方向を示すもので、ここで検討課題として明記されたということは、この10年間という広域地方計画の計画期間において調査等を行うことも想定し得るものであり、決して課題先送りであるとか調査等を行わないという趣旨ではないことを確認させていただきたい。
- ・ 社会資本整備重点計画において、個別の道路事業の開通時期を示すことが重要であると認識しており、フォローアップの中で調整をしていきたい。

<香川県>

- ・ 四国の新幹線の整備について、国として地元要望を認識いただくとともに、長期的という表現については、計画期間において調査等を行うことも想定し得るものであり、先送りではないことの確認をいただきありがたい。
- ・ 本県としては、新幹線は高速道路と並ぶ重要な社会経済基盤であると考えており、今後とも、四国四県・経済界が一丸となって四国の新幹線に向けて活動していきたい。
- ・ 本計画の終わりには、「計画の推進に向けた課題等への対応等について検討することや、計画の実施状況を評価し、計画の見直し等必要な措置を講ずる」ことも記述されていることから、計画の実施にあたっては、協議会の構成員により十分議論しながら推進していただくとともに、国においても格別のご協力をお願いしたい。

<千葉会長>

- ・新幹線については、説明の通り、計画期間の中で、具体的な検討も進めていける状況ということで、我々として今後の対応を考えていけばよい。
- ・新幹線以外で皆さんから寄せられたコメントについても、国には今後の政策実施にあたって配慮をお願いしたい。
- ・なお、市町村の計画提案についてもこれでよろしいか。(よい)

<北本大臣官房審議官>

- ・様々なご意見いただきまして、本当にありがたい。本省といたしましても皆様方のご意見をしっかりと受け止めたいと思っている。

<千葉会長>

- ・課題先進地域である四国において、女性、若い方の意見を聞く場は必要との四国経済産業局からのご意見は、今後の検討課題とさせていただきたい。

<北本大臣官房審議官>

- ・広域地方計画の執行について、PDCAサイクルを回して体制を構築していきたいと考えている。
- ・PDCAを回すとなると、できれば数値目標があるのが望ましいと考えている。既存の数値目標につきまして盛り込めるものは盛り込みたいと考えている。
- ・地方創生の深化に向け、官民協働や地域間連携、政策間連携が大きなテーマになる。このようなテーマに向け推進していくためには本協議会は重要なプラットフォームとなると考えている。広域地方計画の推進を地方創生と連動させながら活力ある地方創生を進めていただきたい。

<四国運輸局>

- ・四国の将来像やそれに向かう道筋について貴重なご意見をいただき、感謝申し上げます。
- ・四国の新幹線の記述については調整に手間取りご迷惑をおかけした。地元の要望を踏まえて調整を図っていきたい。
- ・観光、公共交通ネットワークの維持について、計画の実現に向けて運輸局として取り組むので皆様のご協力をいただきたい。

<四国地方整備局>

- ・大変貴重な意見をいただきありがたい。また、パブリックコメントに図る計画原案にご承認いただきありがたい。
- ・国民の皆様、構成員の皆様の意見を伺い、最終的な計画決定の作業を進めていき

い。

- ・南海トラフ地震を始め、自然災害、少子高齢化の課題があるが、その一方で豊かな自然が存在し、歴史的文化遺産にも恵まれ、元気な企業も多く存在し、ポテンシャルの大きな地域である。潜在力をしっかり発揮できるようご協力いただきたい。

以 上